

S & I BANGKOK NEWSLETTER NO.68

2000.4.25

発行責任者 井口 雅文

発行 S & I International Bangkok Office

TEL +66-2-261-6449、6466

FAX/TEL +66-2-261-6419、6379

Address : Oriflame Asoke Tower 17th Floor, 253 Sukhumvit Soi 21 (Soi Asoke)

Bangkok 10110, Thailand

E-Mail : iguchi@mx1.nisiq.net

(注 : mx1 の「1」は数字です。)

iguchi@loxinfo.co.th

S&IWebsite: <http://www.s-i-asia.com>

CopyRight (C) S & I International Bangkok Office Co., Ltd.

社内用・社外用を問わず無断複製(電子的複製を含む)を禁ずる

～事務所より～

(4月、5月のタイ祝祭日及び弊社休暇のお知らせ)

4月は6日、13日、14日、17日が祝祭日です。5月は5日、15日、17日が祝祭日です。

(ホームページ更新のお知らせ)

弊社ホームページを4月27日付けで更新しました。(4月28日からご覧戴けます)今回は、ニュース(英語版及び日本語版)<http://www.s-i-asia.com/news-JPN.htm>、裁判関係データ、統計データ<http://www.s-i-asia.com/statis.htm>、WTO Tripsの関連法案審議状況チャート<http://www.s-i-asia.com/pcact.htm>を更新しました。ご覧下さい。また、タイ特許法(1999)のマージ版、及び強制実施権レポート(ddI drug report)<http://www.s-i-asia.com/report.htm>、HOW TO GET A PATENT IN MALAYSIA<http://www.s-i-asia.com/patent-ML.htm>を作成しましたので、ご利用下さい。サーチエンジンはInfoseekです。次回更新は5月25日に予定しています。

(現在の弊社コンピュータシステムについて)

現在弊社システムはインターネット対応されておりますが、外部回線速度は56Kで、64KのISDNはまだ導入されておられません。従いまして、写真などの多量データを送信する場合は受信に非常に時間がかかりますので、送付する折はご考慮戴きますようお願い致します。

～編集者より～

今回は援助問題で研修援助を取り上げてみたい。

今年で日本政府が開始した APEC 向けの知的所有権援助施策の一つである研修 1000 人計画が終了する。96 年からスタートして今年で 5 年、この中でタイから日本で研修を受けた人は 160 名を超える。どのような効果を期待したのか未だに見えないが、先月同窓会メンバーが日本の知的財産関連民間団体と会合する場に参加する機会があった。予想通り、ほとんど出席者はなかった。

研修から帰って来たある弁護士から「色々なクライアントに会って来て良かったです。」これが、研修から帰ってからの発言である。この一言が今の研修援助の問題全てが含まれていると言ってよい。研修の期間に暇を見つけてはクライアント巡りに行った彼女の忙しさが目に浮かぶ。私は日本政府に感謝する言葉、AOTS への感謝の言葉が聞きたかったのである。何もクライアントに会いに行く彼女自体を非難するつもりはない。実に日本政府の援助がビジネスに組み込まれてしてしまった研修援助方針そのものが問題ではないのかというのが今回の問題提起である。「なんだそんなことか。」と言われるかもしれないが、援助金は日本国民の血税であるという事を片時も忘れてはならないはずである。課長補佐クラスの検討が余りにも足りないのを最近日常的に感じている。「何でこんな裕福な人が無料で研修を受けられるのか。」私へある参加者からの質問が来る。弁護士で、かつ数ヶ月の研修を受けられる人は数が限られている。それだけの余裕がないと研修に参加できる分けがない。研修から帰って来て「私は毎年京都へ観光に行っています。」こんな発言を聞くと私でも「じゃ、費用を払って研修に行ったらどうか。」と言いたくなる。人選の問題で、平等感が欠けているのも随所に見られる。全て現地政府（それも一つの機関）に人選を丸投げで任せてしまう日本的な行政手法が現地での不満を大きくしているのも事実である。「なんで私の機関が参加できないのか。」タイで知的財産局以上に人材、資料サービスが整っている環境科学技術省の課長からの発言である。幾つか提案をしてこの欄を早急に終わらせたいのご容赦戴きたい。何故なら、書けば書く程腹が立つ事が多いので書く平常心を失ってしまうからである。・有料と無料の研修二種類のコースを設けるべき・人選には日本人政府役人が関与すべし・カリキュラムを多種設けるべき・現地コースを設けるべき。既に幾つかの提案は日本政府に声が届いたようにも思える。特に第二提案の「人選は日本人政府役人が関与すべし」は事のほか大事である。人選を現地政府に任せると、研修生は現地政府に感謝する。当たり前ではないか。研修生に日本政府に感謝してほしいというのは私のような血税を取られている人間が切に願うこと、「効果はなくても良いから感謝してほしい」それは、日本国民が研修生に期待する最低限の気持ちである。

日本から来られる客人から「タイ人は親日的ですか。」という質問を良く受ける。私は余り肯定も否定もしないで「いつもニュートラルだと思って下さい。」と答えている。これは、

余り偏見を持たれると将来の客人のビジネスに差し障りがあると感じているからである。親日的という言葉の定義すらはっきりしない。親日的だから何かをするというわけでもない。親日的とか親米派とかは多国籍で仕事をしている私から見ると実に不愉快な言葉である。過去親日的だと思い込んでビジネスを展開し失敗した人々は数多い、が、よくよく考えるとビジネスでの失敗原因は親日的とは全くかけ離れた場所で起きているのである。いままで私はかなり辛口に日本人ビジネスマンに対しては助言をして来たつもりである。が、しかしである、過去私が体験したり見聞きした日本人への数々の事件や批判を思い出すと、今の状況は全く違う。本当に歯がゆく、かつこそばゆい思いがする現象が現れてきている。それも着実に進行している。

ここに昨年 11 月 24 日付けタイのローカル新聞に「ドゥシット世論調査—タイ人は日本好き」というタイトルの記事がある。タイ人 2797 人を対象に外国人をどのように見ているかという世論調査結果が出されている。

(1) 友達になりたい外国人は？

- | | |
|--------|--------|
| ①日本人 | 26.27% |
| ②イギリス人 | 24.37% |
| ③アメリカ人 | 20.52% |

(2) 旅行に行きたい国は？

- | | |
|-------|--------|
| ①アメリカ | 18.29% |
| ②日本 | 18.10% |
| ③イギリス | 15.90% |

(3) もし悩みを相談するとしたらどこの国の人が信頼できるか？

- | | |
|--------|--------|
| ①イギリス人 | 23.63% |
| ②日本人 | 21.47% |
| ③アメリカ人 | 18.29% |

(4) タイはどこの国と友好を深めるべきか？

- | | |
|-------|--------|
| ①アメリカ | 33.15% |
| ②日本 | 21.39% |
| ③中国 | 15.52% |

(5) どこの国の文化が好きか？

- | | |
|-------|--------|
| ①日本 | 30.94% |
| ②中国 | 22.86% |
| ③イギリス | 14.54% |

(6) どこの国の人が親切か？

- | | |
|--------|--------|
| ①日本人 | 25.23% |
| ②イギリス人 | 22.34% |

③中国人 19.58%

驚くべきは日本あるいは日本人が常に上位に入っていることである。現代アジアの人々は日本へのイメージを確実に変えつつあると言ってよい。

「井口さん。日本の家庭には教育熱心なお母さんや学校にいじわるな生徒がいるんですよ。それに小学生の時にガールフレンドを作ったりもするんですよ。」会食していたら突然、質問を受けた。質問をしてきた相手はタイの若いエリート弁護士達である。彼らが日本に接する機会を想像するに、80年代では日本商品しかなかった。当時、日本商品不買運動が起きた時は彼らは生まれて間も無い時期である。彼らにとっては遠い過去の歴史である。90年代に彼らは小学生時代にタイの民主化暴動を経験し、丁度、高校から大学の時代に日本文化と接するようになる。接点となるモノ、これは漫画である。先ほどの会話は「どらえもん」を読んだ若者が日本の家庭を想像して質問して来たものである。中には「どらえもん」全巻を読破した人もいた。戦争の記憶は映画やドラマでしか知らない遠い過去となってしまった。日本の現代社会を知る最も効果的なツールが漫画という分けである。タイでは日本漫画が頻繁にテレビ放映される。「一休さん」「どらえもん」「クレヨンしんちゃん」「ドクタースランプ」つい最近では「まるちゃん」である。確かに皆穏健な代表的な日本漫画を選択し放映している。さらに、どれも日本の中流の一般家庭、教育環境がテーマになった作品である。今のタイだけではなくアジアの若者達が日本をイメージするとき、これらの漫画やドラマ、映画がベースとして刷り込まれているのは想像に難くない。アジアに80年代とは違った形、かつ内容の濃い形で浸透し始めている日本文化、理解されつつある日本文化、そこに日本の庶民文化を見ることができる。

昨年あたりから、マスコミの中にアジアでの日本の若者文化浸透についての記事が目立つようになった。日本経済新聞でも毎週土曜日に掲載されるNIKKEI X (今年4月で廃止されたのが残念であるが)に頻繁に登場するようになった。99年5月15日付け「TOKYO発信力復活」、今年3月25日付け「サブカルチャー日本発世界へ」、そして海外マスコミでは99年5月3日付けTIME (アジア版)「Young Japan」<http://cnn.com/ASIANOW/time/asia/magazine/1999/990503/> サブタイトルは'With its in-your-face style and endless thirst for thrills, Japan's new generation wants to transform the nation'と題し、現代日本社会の若者が如何に今までに無い性質を持った世代であるかを論じている。99年11月17日付けNewsweek (国際版)表紙には「アジアは今、日本が大好き」と題し、「Everybody Loves Japan!」「Cute Power!」では、香港の中産階級の若者が日本のポップカルチャーに親しんでいる様子が取材されている。台湾では日本流行の若者達を称して「harizu」と言われ日本狂と呼ばれている。これらの世代はアジアで150万人、日本語を勉強して流行を先取りしている。Western-style cool is out. Everything Japanese is in trend. Oh, so cute なのだそうである。何故日本のポップカルチャーが気

に入られるのだろうか。Newsweekでは幾つかのインタビューが紹介されている。興味深いのは香港の大学で教鞭をとっているLisa Leung氏の指摘である。「香港の人々が日本文化が好きなのはit seems richer than the money-hungry culture of their city. We're envious of their deep culture.」と述べている。この見方は何故か私には非常に共感を持てた。お金で価値を判断する以上の贅沢（あるいは価値）が日本文化には感じられるというのだが、如何なものだろうか。アジアの感性はまさに日本の庶民文化と共振するところがあるという表現が適当なのかもしれない。

では、アジアのマスコミはどのように見ているのであろうか。昨年12月6日付けシンガポールストリートタイムズに”J-Culture takes Asia by storm”と題する記事が載った。この記事はニューヨークタイムズ紙の転載であるが、J-Cultureつまり日本文化が嵐の如くアジアを襲っているとの内容である。今のアジアの若者は、非常に日本文化に敏感であると伝えている。韓国では学生の待合場所に米国ファーストフード店やコーヒーハウスではなく日本風カフェや喫茶が選ばれている。香港ではニューススタンドには日本のコミックやファッション雑誌が売り切れの状態となる。中国、シンガポール、フィリピン、タイ、インドネシアでは日本の音楽、映画、商品、テレビドラマが人気となっていると紹介している。今年2月14日付けバンコクポスト紙”Japan’s hot, America’s not”と題し、台北の若者達の写真が載った。どの若者も渋谷か六本木で闊歩しているようなスタイルである。これも流行の先端に行くアジアの若者達は米国スタイルを拒絶し、自国文化に近いより明るくかわいいスタイルを好んでいると紹介している。音楽からソープオペラ、ヌードルから漫画まで全ての日本の物が近年人気となっている。韓国の13歳の男子「もしポケモンを知らなかったら、誰もクラスで話しかけて来ないよ。」と話す。台北でのケーブルテレビは少なくとも3チャンネルが日本のニュース、ドラマ、ゲームショーで埋まっている。17歳の香港の女の子は「毎週200香港ドル（約3000円）を日本商品に費やす。とてもかわいいから。」と話す。最近シンガポールのマクドナルドで騒ぎがあった。ハローキティを売り出したマクドナルドの前に開店前4時30分から数千人の主婦の行列ができたのである。台北の21歳の女性は「American fashion is drab (だらしない) and simple, just jeans and a T-shirt. Japanese clothes have more variety in style and shape and the colors are brighter.」と日本の商品について高い評価をする。これらの現象を分析している台湾のWinnie Lanさんは、「日本は地理的に近いし、文化も似通っているためアジアの人々により簡単に受け入れられるのではないか。」と指摘し、「ハローキティはアジアの感性にアピールできるのはその優しさと無邪気さからで、ミッキーマウスやドナルドダックはアメリカ人のような積極性と独立性が強調されていて、ハローキティのような優しさや無邪気さがない。」と評している。しかしながら、異論があると言えば、なくもない。浦安のディズニーランドにはアジアからの観光客がごった返す。特に台湾の裕福な若者達で溢れかえっているのもまた事実である。単に「無邪気さ」がアジアでウケていると言っても言い過ぎではないような気がする

が、如何なものか。

日本の高度成長期の頃、即ち日本企業が怒濤の如くアジアに進出した頃、日本商品でアジアは溢れ日本商品不買運動が起きた。今の時代もあの頃と表面的に似ているが、深層は全く違った様相を呈している。これは経済進出による現象ではなく、直感だが、アジアの若者達が素直に日本文化を評価し受け入れて始めているのではないだろうか。逆に日本の若者も同様にアジアの多様な文化を素直に取り入れ始めている。新聞には現れて来ないアジアの底流が今非常におもしろい。

～シンガポールで海賊版ゲームCDの大量検挙があった～

シンガポールでソニープレイステーション用のゲームソフトCD 20 万枚以上、市場価格 200 万ドル相当が 2 日間の捜査で押収された。場所は Ubi、及び Lucky Plaza で、女性 1 名、男性 5 名を逮捕し、6697 枚の海賊版 CD を押収し、その次ぎの日に Poly-Star Enterprise Pte Ltd. の所有者でシンジケートリーダーが逮捕された。これにより倉庫が発見され 20 万枚の CD が見つかった。マレーシアから密輸された CD は Siglap にある家で梱包され、ネットワークのローカル販売店に卸されていたものと判明した。このシンジケートの捜査は過去 3 ヶ月にわたり警察が内偵を進めていたものである。今年には既に 105 回の捜査で 350 万ドルで 34.4 万点の押収物を得ている。(2000 年 3 月 30 日、シンガポールストレイトタイムズ)

～シンガポールは未だに監視国リストに載っている～

米国映画会社、音楽、ソフト、出版業界はシンガポールを監視国に保留するように米国政府に圧力を掛けている。企業各社は昨年海賊版被害額を 1.14 億ドルとし、シンガポールは 95 年以来監視国となっている。シンガポールは 37 の監視国の一つで、他にオーストラリア、マレーシア、タイ、インドネシア、インド、台湾、スペイン、パキスタン、ベトナムが含まれている。これらは、米国政府へ著作権者を代表する International Intellectual Property Alliance(IIPA)による報告の中で明らかにされたもの。この中に小売での海賊版はシンガポールに広がっており、音楽 CD,VCD,CD-ROM は全土にわたり容易に入手できるとしている。また、検察当局も少数の固定した場所での捜査に焦点を絞っているため、海賊行為は場所を変えているとも指摘している。また、シンガポールの海賊版市場は広大であり、価格は幾つかのソフトで下落を見ている。(2000 年 4 月 2 日、The Straits Times Interactive)

～シンガポールで新しい発明にアドバイスが得られるようになる～

シンガポール政府教育大臣 Teo Chee Hean によれば、National Science and Technology Board(NSTB)が他の機関と一緒に、Technology and Market Intelligence Service

Bureau を今年末までに立ち上げ、シンガポールの知的財産権フレームワークを強化し、テクノロジーハブへの足がかりとしたいと発表している。この他の新しい NSTB での活動は訓練と技術分野、ビジネス分野と法律分野との境界領域作業に専門的な需要が見込まれるために産業専門家へのインターンシップを導入することである。シンガポール知的財産局は知的財産権の啓蒙にその努力を集中させ、NSTB は初期段階に基金を供給することにより出願に資金を供給することとなる。この機関については Chou Siaw Kiang 助教授によると、この機関は発明者、投資者及びビジネスのあらゆる開発段階でのハブとなろうと言っている。(2000年4月2日、The Strait Times Interactive)

～求む！権利期間が短い特許～

特許は知的財産権の中でも最も強力なもので、その目的は発明者への賞与にある。しかしながら、特許法には様々な技術への投資インセンティブに対して多様性がない。つまり、風呂場での思いつきから開発から市場に出すまでに数百万ドルの投資が必要な医薬品まで一様な保護を定めている。アマゾンやビジネスパテント保有者が言うにはソフトやビジネスパテントは他の特許よりも短い権利期間例えば3年から5年とすべきではないかと言っている。(2000年4月10日、The Straits Times Interactive)

～マレーシアはソフト海賊版の新天国～

マレーシアのクアラルンプールで開かれた Software Policy Summit で冒頭マレーシア政府国内消費者省 Pahamin Rajab 氏は中国、香港が取り締まりに厳しくなった時に、ほとんどの海賊版はマレーシアに流れ込んだ。そしてマレーシアは海賊行為の天国となっていると語った。この会合は12カ国のアジア太平洋地域から政府関係者及び技術専門家を招き知的財産権保護とソフト海賊行為について語られた。98年の調査によると、マレーシアで使用しているソフトの70%が海賊版であるとされた。98年には米国映画産業に与えた損害額は4000万ドルで、音楽産業に与えた損害額は1300万ドルとされている。(2000年4月11日、バンコクポスト)

～タイでソフトウェア開発が輸出振興に一役か～

タイコンピュータ産業連盟 (Association of Thai Computer Industry) によると、タイのソフトウェア開発業者が少なくとも10社参加し、Thai Software Syndicate を今年中に発足させ、特に米国へソフトを輸出する計画である。資本金は1億バーツ。2年の操業後に Market of Alternative Investment(MAI)への参加を目論む。同団体は1年以内に受注額を10億バーツを目指し、米国への進出を計画しており、タイのソフト開発が2005年から2006年までに400億バーツの輸出までなるように期待している。(2000年3月14日、タイネーション紙)

～タイでエイズ活動家グループは安い医薬 ddi を求める～

タイのエイズ活動家グループ(People Living with HIV/Aids, PHA)のタイネットワークはエイズ薬 d d i 価格を下げるようにキャンペーンを実施する予定である。d d i は米国企業のブリストルマイヤー社が開発し特許を取得したもの。100 万人の患者が居るタイでは 5 から 10% のみの人にエイズ薬が供与されている。この価格は 1 錠剤当たり 49 バーツと高価である。今回のキャンペーンでは 200 グループが集合し第二回全国大会を実施した。次回は今月末にキャンペーンを実施する予定である。(2000 年 3 月 21 日、タイネーション紙)

～マイクロソフトは 3 社のタイ企業を告発している～

マイクロソフト社は著作権侵害でタイ企業 3 社を刑事告訴している。First Comp System, Zebra Computer, Thongchai Sae Jia で、いずれも海賊版ウィンドウズ 98 をハードディスクにロードし、販売した顧客に対してオリジナル CD-ROM, ライセンス証明を配布しなかったため告発された。(2000 年 3 月 22 日タイネーション紙)

～タイ企業がウルトラマン訴訟に勝利～

タイ企業が 2 年がかりで人気のある日本の子供達のフィルムキャラクター、ウルトラマンについて、カラー印刷する権利を獲得した。ツブラヤチャイヨー社が関与した裁判はローカル企業と海外企業との間の訴訟が最初である。この企業は日本の円谷プロダクションにより 94 年著作権法により知的財産裁判所に訴えられ、1 億バーツの損害賠償金を請求された。タイ企業は既に法的な権利を持っていると反論した。さらにタイ企業は日本企業を 17 億バーツの損害賠償を求め民事裁判を起こした。裁判所はタイ企業に既に著作権が移転されていると判断し、円谷プロダクションに対し、1200 万バーツの支払いを年利 7.5% で命じた。(2000 年 4 月 7 日、バンコクポスト)

～タイの工場で海賊版ソフトを摘発～

米国民間団体 BSA(Business Software Alliance)は、バンコク郊外サムットプラカンにてプラスチック製造工場内に海賊版ソフトが多数使用されているのを発見し、摘発を行った。経済警察 11 名、BSA 代表者、技術者 14 名で捜査をした処、73 のコンピュータから不正ソフトを発見した。(2000 年 4 月 12 日、バンコクポスト)